

コスモス 51号

COSMOS GAKUEN

社会福祉法人
足柄緑の会
編集・発行/コスモス学園
発行日/令和7年9月30日
<https://www.n-csm.jp>

コスモス学園中沼ジョブセンター コスモスホーム
コスモス学園中沼ケアセンター 居宅介護事業所それいゆ
コスモス学園松田センター 相談支援事業所あすなろ



— 特集 —

- ◆ 総務部長 小田島 明
「社会福祉法人を取り巻く環境の変化」
- ◆ 令和6年度 理事会・評議員会 決議事項報告
- ◆ 中沼ケアセンター車両買替 /
コスモス学園祭のお知らせ / 職員研修

- ◆ 令和7年度上半期 各事業所ニュース
- ◆ 令和6年度 事業報告・決算報告
- ◆ 新利用者紹介 / 新職員紹介 /
あのひとこんなひと / 善意



社会福祉法人を取り巻く環境の変化



総務部長

小田島 明

人口減少により福祉サービスの担い手が急減する、社会保障費が増大する2040年問題への対応、複雑化・多様化する福祉ニーズの対応、災害等非常時の事業継続の確保など、社会福祉法人を取り巻く環境は厳しくなりつつあります。

厚生労働省は、社会福祉法人が地域における福祉サービスを継続的かつ安定して提供するため、経営基盤の強化を図ることを求めており、そのための方策の一つとして、社会福祉法人の合併、事業譲渡等、法人間連携（社会福祉法人の事業展開に係るガイドライン）を策定しています。

全国社会福祉法人経営者協議会は、社会福祉法人の多角化、多機能化による経営基盤の強化の必要性を強調しています。

当法人は多機能化により、経営基盤の強化を図ることを検討しています。合併、事業譲渡等、法人間連携は現在のところ考えていませんが、今後の報酬改定、経営状況等によっては検討する時期が来るかもしれません。

社会福祉法人は、公益性が高く、利益の追求を目的としないで、社会貢献や福祉活動を行う非営利法人です。とはいっても、利益（増減差額）が出なければ、建物の修繕・備品や車両の買替が行いにくくなります。また、赤字が何年も続けば倒産してしまいます。物価高騰、最低賃金の大幅な引上げ、人材不足もあり、法人の経営は今後さらに厳しくなつていくことが予想されます。

経営の安定化は、適切なサービス提供による利用者数の確保、効率化による経費削減等、法人の努力が必要ですが、法人の努力だけでは限界があります。

障害福祉報酬（特に基本報酬）の引上げ・毎年の見直し、地域区分の是正、処遇改善加算等の引上げが必要です。当法人としてもこの3点を複数の業界団体に要望しています。

障害福祉の報酬の大部分を占める自立支援給付費は、国の公定価格で決まります。この公定価格は、3年に一度の見直しがありますが、物価高騰、最低賃金の大幅な引上げに対応するため、3年に一度ではなく、毎年実施し、基本報酬を引上げることを要望しています。

障害福祉報酬に大きく影響する地域区分は、国家公務員の旧地域手当に準じており（一部特例あり）、市町村ごとに1級地から7級地とその他の8区分になっています。1級地とその他では、収入は二〇%も差があります。最低賃金は都道府県ごとに決定されるのに地域区分は市町村ごとに異なるのは非常に不公平です。南足柄市町はその他のままで、最低賃金が全国2位の神奈川県は令和6年度にその他から7級地になりましたが、松田市は令和6年度にその他から7級地になりましたが、松田市町はその他のままで、最低賃金が全国2位の神奈川県にその他地域があるのは不可解です。

令和7年度より、国家公務員の地域手当は市町村単位ではなく、都道府県単位が基本となり、神奈川県は新3級地（一部は新2級地）になっています。地域区分は激変緩和措置もあるため、いつからどのように上がるか不透明ですが、早く上がるふと願っています。

障害福祉人材と他産業との給与格差を少しでも埋めるため、処遇改善加算等の異なる引上げと対象職種拡大を要望しています。

経営の安定化のため、これからも業界団体の様々な政策提言に向けた調査・要望に協力していきます。

令和6年度 理事会・評議員会 決議事項報告

(1)評議員会

定時評議員会 令和6年6月26日(水)

- 第1号議案 令和5年度計算書類等の承認の件
第2号議案 定款変更の件

(2)理事会

令和6年度第1回理事会 令和6年5月30日(木)

- 第1号議案 令和5年度事業報告の承認の件
第2号議案 令和5年度計算書類等の承認の件
第3号議案 慶弔見舞金規程の変更の件
第4号議案 定時評議員会の招集の件

令和6年度第2回理事会 令和6年7月22日(月)

- 第1号議案 経理規程の変更の件

令和6年度第3回理事会 令和6年9月23日(月)

- 第1号議案 運営規程の変更の件

理事長

関野 純一

理事

宮坂 信章

川端 慎

小田島 明

東海 康行

小野 達也

監事

関 正明

加藤 正晃

評議員

鍵和田 茂

鍵和田 功

廣田 勝紀

赤沼 洋

浅沼 賢史

塗場 浩司

石井 肇

林理事、齋能理事、玉川評議員がこのたびご退任されました。

長年にわたる多大なご貢献に、心より感謝申し上げます。今後のご健勝とご多幸をお祈りいたします。

中沼ケアセンター新車両紹介

7月に銀色のハイエースリフトが、白色ハイエースリフトの新車に変わりました。

長年乗り続け、みんなに親しまれた「リフト1」は、今年の暑さにエアコンも悲鳴を上げ出したタイミングでの新車導入となりました。

利用者の皆さんからは「早く新車に乗りたい!!」「クーラーがすごく効く!」「ピカピカ!!」など感想は上々です。

職員一同、安全運転を心がけ長く乗り続けたいと思います。



今回の研修で得られた知識を生かし、丁寧な支援を心がけていきたいと思います。

前半の研修プログラムとして、「てんかん発作を知る」をテーマに学びました。発作時にるべき対応や、てんかん発作を持っている利用者さんの情報を生活介護、B型職員で共有することの大切さを改めて再認識することができました。

後半のプログラムでは「障害者虐待対応」について学び、障害者の虐待事例についてのグループワークでは、様々な意見が飛び交いました。



これらの事業所の見学の目的としては近隣の事業所を知り、より良い支援につなげていくこともあります。ですが、近隣の事業所同士が助け合いかがら地域の支援の質の向上につなげなければとも感じました。このような機会は定期的に作つていければと思います。

第28回学園祭開催のお知らせ

昨年に続き一般公開の学園祭を開催します。

当日は、利用者さんによるステージ発表、模擬店、ゲームコーナーなど、盛りだくさんの内容をご用意しております。ご家族やご友人お誘いあわせのうえ、ぜひお越しください。

皆様のご来場を心よりお待ちしております。

日 時 令和7年10月11日(土)
午前10時30分～午後3時00分
場 所 コスモス学園中沼ケアセンター
南足柄市中沼831-1
TEL(0465)72-0880

駐車場あり！各駅から送迎あり！
詳しくはHPまたはSNSをご覧ください



中沼 ジョブセンター

今回の職員研修のテーマは「アンガーマネジメント研修」です。

職員25名が参加し、「アンガーマネジメント」という聞き慣れないテーマに少し戸惑いながらも、真剣に研修を受けていました。緊張をほぐすためにアンガーマネジメントゲームや、ロールプレイを取り入れ、2時間の研修は和やかな雰囲気で進めることができました。研修の到達目標は「不適切な怒りの感情をうまくコントロールする」「怒りを正しく対処することで健全な人間関係を作り上げる知識・技術を習得する」です。

この研修が職員間の円滑なコミュニケーションや風通しの良い職場の雰囲気がついていくことを期待しています。

松田センター



法人職員研修

5月10日(土)に職員研修を実施しました。今回の研修は各事業所に分かれて行いました。

中沼 ケアセンター

前半は発達障害のある方への支援に有効とされる

「応用行動分析(ABA)」について学び、行動をどのように捉えるかを理解する機会となりました。後半は東田直樹さんの著書「自閉症の僕が跳びはねる理由」を原案としたDVDを鑑賞し、グループワークを実施。内容が分かりやすく、終了後には「センターでも構造化を進められるのでは」と活発な意見交換が行われました。

職員全員が一堂に会して学ぶことは貴重であり、大変有意義な時間となりました。日頃よりご協力いただいている利用者・ご家族の皆さんに改めて感謝申し上げ、今回の学びを今後の支援にしっかりと活かしてまいります。

コスモスホーム

6月27日(金)コスモスホーム、

それいゆの7名の職員が

南足柄市内にあるグループホーム「美音の郷」「プレアデス山崎ホーム」の2カ所の見学を実施しました。

「美音の郷」は日中サービス支援型であり、日中活動の形態も確認でき、大変参考になりました。「プレアデス山崎ホーム」は介護サービス包括型であり、コスモスホームと同じ形態です。職員同士の意見交換会も実施でき有意義な時間となりました。

これらの事業所の見学の目的としては近隣の事業所を知り、より良い支援につなげていくことはあります。ですが、近隣の事業所同士が助け合いかがら地域の支援の質の向上につなげなければとも感じました。このような機会は定期的に作つていければと思います。

各事業所ニュース

中沼ショブセンター

今年度、新たに1名の新利用者さんを迎えるました。4月に中沼ケアセンターと合同で入所式を行いました。式典では「コスモス会会長と、副会長が挨拶や開式の言葉・閉式の言葉を述べ、皆さん先輩として新利用者を温かく迎えてくれました。



作業面では、5月に開成町の優先調達作業で施設外就労として開成町の紫水大橋からグリーンリサイクルセンターまでのサイクリングコースの草刈り作業を請け負いました。他の事業所の利用者さんと役割を分担、協力して刈った草を集め、軽トラックに乗せました。暑い中の作業でしたが、施設外就労に参加された皆さんは率先して動き、通りかかるの方々にも「頑張つね」と励ましの言葉をいただけました。次回は9月にもう一度この作業が行われます。

そして、7月には納涼大会が行われました。今回は中沼ケアセンターの中庭を使用して屋台を出し、よりお祭りを意識した開催となりました。ボランティアの方もたくさん来てくださいました。自慢大会の他、屋台では定番の焼きそば、射的、かき氷、ポップコーンの他にお絵描きせんべい、職員お手製のトトロやドラえもんのボール投げが登場しました。また、今回の屋台では初の試みとして点線で切れるチケットを採用し、ボランティアの方々とやり取りをしました。皆さん楽しもれ、作業中とは違った表情が見られました。



また、同じく施設外就労で開成町開発予定地の草刈りも請け負いました。こちらは開成駅周辺の草刈りです。この作業も他の事業所の利用者さんと協力して取り組みました。いろいろな利用者さんが施設外で活躍する機会が多かつた上半期でした。



館内を南国風に飾り付け、雰囲気を楽しんでいただけるよう工夫しました。食事のメニューも夏らしく、ハワイ風シェーブアイス(かき氷)や、本物の竹を使った具だくさん流しラーメンをご用意しました。「美味しいかった、また食べたい!」という声が多く寄せられ、皆さんの笑顔にあふれるひとときとなりました。



7月18日には、納涼大会を開きました。今年のテーマは「HAWAII」。

午後には久しぶりの調理活動を行い、スイカと冷凍フルーツにサイダーを注いで爽やかなフルーツカクテルを作りました。涼やかな香りと甘みが広がり、夏ならではの美味しさを楽しむことができました。大きなスイカを囲んで皆さんで作り上げた時間は、とても思い出深いものになりました。



令和7年度、新しい仲間が加わりました。

4月5日、春の青空が広がる中、入所式が行われ、中沼ケアセンターでは皆さんをお迎えしました。これからも日々の活動を楽しく、充実したものとなるよう支援していきます。

中沼ケアセンター

7月18日に納涼大会を開催しました。今年度も生活介護、就労継続支援B型に分かれていきました。

就労継続支援B型は、午前中に調理活動としてお絵描き煎餅、ビンゴ抽選会を行い、午後からは定番のかき氷、ヨーヨー釣り、射的で加えてたくさんのがゲームを楽しみました。

午前のビンゴ抽選会では、なかなかビンゴしないカードにやきもきされていたのが印象的でした。

午後は新しいゲームが盛りだくさんで、優勝者には表彰状が授与される事を知ると、皆さん思い思いの攻略法で挑まれ、コップ飛ばしでは積まれたコップを上から落とす人が多い中、下のコップを狙い最速タイムを出された方がいました。またお菓子すくいではあの手この手を使って奮闘され、たくさんのお菓子が取れると笑顔が溢っていました。



午後は新しいゲームが盛りだくさんで、優勝者には表彰状が授与される事を知ると、皆さん思い思いの攻略法で挑まれ、コップ飛ばしでは積まれたコップを上から落とす人が多い中、下のコップを狙い最速タイムを出された方がいました。またお菓子すくいではあの手この手を使って奮闘され、たくさんのお菓子が取れると笑顔が溢っていました。

今年は新しいゲームが盛りだくさんな納涼大会になり、皆さん戸惑われるかと心配しておりましたが、どのゲームも楽しそうにされており杞憂に終わりました。来年も利用者さんの意見を聞きながら、一緒に楽しい納涼大会にしたいと思います。



午前のかき氷では、皆さん思い思いのトッピングをされ、B型ではイチゴ味が人気でしたが、生活介護ではカルピスと練乳のトッピングが一番人気でした。またおかわりして他の味を食べてみたいと何度も列に並ばれる方もおり、皆さん美味しそうに食べていました。

午後のスイカ割りゲームでは、みんなで声援をしながら盛り上がり、普段穏やかな方が、「よっしゃー」とテンションの高い掛け声と共に凄い速さでスイカを叩かれました。

6月25日には「ひだまり」にて、練乳とイチゴシロップのかき氷をおやつに食べました。今年は最も暑い6月となり30度を超える日が続いていたので、夏を感じながらワイヤーと賑やかに食べました。

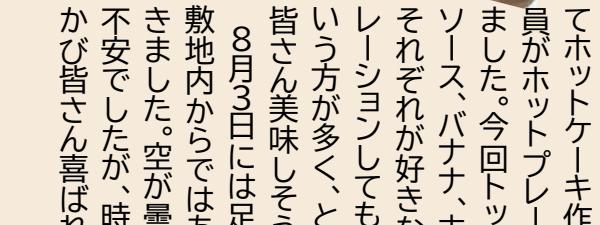
6月25日には「ひだまり」にて、練乳とイチゴシロップのかき氷をおやつに食べました。今年は最も暑い6月となり30度を超える日が続いていたので、夏を感じながらワイヤーと賑やかに食べました。

7月7日の七夕には、毎年恒例の玄関前に笹を用意し、飾りつけを行いました。数名の利用者さんが装飾品作りを手伝ってくださり、折り紙を使ってきれいな飾りを作りました。完成後、各利用者さんは短冊に願い事を書き笹に飾りました。

7月27日には「ひだまり」にて、おやつの時間としてホットケーキ作りを行いました。材料を用意し、職員がホットプレートで焼いた後、各利用者さんに配りました。今回トッピングには、ケーキシロップ、チョコソース、バナナ、ホイップクリーム、アイスを用意し、レーシヨンしてもらつましたが、意外にも全部乗せという方が多く、とても豪華なホットケーキが完成し、皆さん美味しそうに食べられていきました。

8月3日には足柄金太郎まつりで行われる花火を敷地内からではありますが、外に出て見ることができました。空が曇っていたため、ちゃんと見えるのが不安でしたが、時間になるときれいな花火が空に浮かび皆さん喜ばれていました。

今年は暑い日が続っています。「コスモスホームでも体調管理、室内での温度管理を心がけ、利用者さん、職員ともに熱中症にならないよう注意をしています。そんな炎天下の中では、「涼」ですが、夏らしい行事も行つたので紹介させていただきます。



今年は新しいゲームが盛りだくさんな納涼大会になり、皆さん戸惑われるかと心配しておりましたが、どのゲームも楽しそうにされており杞憂に終わりました。来年も利用者さんの意見を聞きながら、一緒に楽しい納涼大会にしたいと思います。

今年は新しいゲームが盛りだくさんな納涼大会になり、皆さん戸惑われるかと心配しておりましたが、どのゲームも楽しそうにされており杞憂に終わりました。来年も利用者さんの意見を聞きながら、一緒に楽しい納涼大会にしたいと思います。

令和6年度 社会福祉法人足柄緑の会 事業報告

1.概況

(1)新型コロナウイルスの状況

発症例もあったが、勤務体制に支障が生じることはなかった。ノロウイルスの発症例があったが、適切な対応を周知できた。

(2)行事

6年ぶりに、一般公開による学園祭が開催できた。
地域やボランティアの方々のお手伝い、そして、行政を初めとした関係各所のご来場により、大変盛り上がった。
就労系のバス研修旅行は、公用車を使用して、会社見学、食事会を行った。生活介護のバス旅行は、公用車を使って食事会を行った。
利用者さんには大変好評だった。

2. 理事長の主な行動

(1)情報交換・情報発信

- ① 総合施設長・総務部長と毎週1回2時間程度のミーティングを行っている。行動予定、懸案事項の確認、その他情報交換は、意思統一が図れ有効に機能している。
- ② 毎月1日発信の理事長通信は、令和7年3月で52回となった。ビジネス講座も取り入れるようにしている。
- ③ 理事長・総合施設長・総務部長・コスマス学園中沼ジョブセンター（以下、「中沼 ジョブセンター」という）所長・生産事業部長による「中沼ジョブセンター将来検討会議」で、プラスチック生産事業を含めた中沼ジョブセンター全体の在り方と、その将来に向けた方向性を議論している。今後、新たな事業の立ち上げと、生産事業部の事務所の移動等を決定した。
- ④ 6年ぶりに開催した学園祭の場で、国会議員や首長をはじめ、多くの議員、福祉関係者と情報交換ができた。
- ⑤ 行事や全体会、職員会議、保護者会等に出席し、職員や利用者、保護者との意思疎通を図った。
- ⑥ 7月、南足柄市社会福祉協議会において、「地域ネットワーク連絡会」が発足し、会員として出席した。地域の社会福祉法人、医療法人他福祉関係の事業所と社会福祉協議会が連携し、地域福祉を進めていくことを目的にしている。12月に第2回が開催された。次年度も継続する。
- ⑦ 10月、南足柄市特別職報酬等審議会が開かれ、委員として出席した。11月に第2回が開催された。

(2)中・長期対策

- ① 設備の老朽化対策
合計8,630千円 自己資金で賄った。
- ② 不稼働資産対応
特に進展はなかった。
- ③ 後継者問題
中沼ジョブセンター生産事業部長の後任問題は、深刻に考えており、「中沼ジョブセンター将来検討会議」では常に議論している。

3. 法人の運営方針

(1)サービスの質の向上

① 就労継続支援B型

ア 受注状況

- ・中沼ジョブセンターは、受注作業の売上が増加し、平均工賃が2万円を超えることができた。コスマス学園松田センター（以下、「松田センター」という）は、工賃は前年度並みであったが、施設外就労先が開拓でき、次年度はアップが見込める。
- ・障害者優先調達推進法により、行政からの受注依頼が増加した。足柄上地区1市5町に対して、「工賃1,000円UPプロジェクト」を提唱した。

イ プラスチック成形

- ・取引先との交渉で、物価高騰による製品単価の値上げが認められ、影響は最小限に抑えられた

・成形機6台体制で取組んだが、生産に支障はなかった。経費削減となった。

・「中沼ジョブセンター将来検討会議」において、事業所内の環境改善を図ることができ、利用者の活動スペースが充実した。

② 生活介護

ア 中沼ケアセンター

- ・利用者の作業にタブレットを取り入れ、作業種を増やした。
- ・自閉症の利用者に対し、パーテーションによるエリアを作った。
- ・絵カードを使い、意思疎通を取りやすくした。
- ・PDCAサイクルの実践を始めた。

イ 松田センター

調理活動を再開した。また外出活動では、活動先を増やした。

③ 共同生活援助(グループホーム)

本人の意向を尊重し、自立に向けた支援に努めた。地域の防災訓練は雨天で中止になったものの、6月の美化活動、11月の中沼自治会秋祭りに参加した。

④ 居宅介護(ヘルパー)

従来どおり、感染症対策を十分取りながら継続的に実施した。

⑤ 相談支援

対面による相談支援を行った。

(2)職員の教育・育成

① 資格取得について

3名が介護福祉士、1名が相談支援専門員の資格を取得した。

② 新入職員教育

入職者に対しては、現場のOJTがすべてである。担当職員をできるだけ固定し指導した。

③ 採用活動

従来どおり、学校訪問、事業所説明会、インターンシップ等をきめ細かく実施した。

求人広告媒体による公募を積極的に行なった。

採用ツールの仕組みを作る手段として、SNS委員会が発足した。新年度より、これが具体的に動き出し、スマートフォンを通してコスマス学園の取り組みが若年層の目に触れるよう、積極的に公開する。

④ 後継者の育成

所長を補佐する人材の育成は急務である。副所長への登用、正職員への登用、配置換え等により、育成を図った。

⑤ 職員のメンタルヘルス

メンタル不調の職員はいなかった。

今後とも、定期的なメンタルヘルスチェックを行い、早めの気づき、早めの対応につなげる。何より、風通しの良い職場環境を維持することが一番必要なことである。

⑥ 勤怠管理

「働き方改革」を踏まえ、決められた労働時間と時間外労働の明確化を図った。そして、管理者による適正な時間管理を行い、職員の労働時間に対する意識改革の醸成に努めた。

(3)法人の社会的責任の遂行

中沼ジョブセンターでは、1月7日、南足柄市社会福祉協議会の冬休み寺子屋教室で、1月22日、山北町川村小学校の卒業記念行事で、ロケットの組み立て・打ち上げ教室を実施した。利用者さんも数名参加し、地域貢献を果たした。

(4)地域における公益的な取組

災害対応訓練（中沼3回、松田3回実施）、権利擁護支援（KWネット）、相談支援ネットワーク等の施設間連携事業に参加し、行政や他の福祉施設、医療機関等との連携、協働を図った。

(5) 法令順守

- 幹部職員との定例ミーティング等により情報の共有化を図り、規程の変更、業務内容の整理を行い、法令改正・働き方改革に対応した。
- 役員の勉強会は、理事会の時間内で、「令和6年度報酬改定について」、「成年後見について」、「社会福祉制度の変遷とこれからの障害福祉」の勉強をした。

(6) 財務安定化

- 老朽化対策については、この先10年を一つの目途とし、実施時期、金額、調達方法等を洗い出し共有した。
- 令和6年度報酬改定により、南足柄市の地域区分が、その他から7級地になったこと、就労継続支援B型の基本報酬の引き上げなどにより、自立支援給付費収益が約20,000千円増収となった。
- 会計ソフトのクラウド化により、IT導入補助金1,548千円(2年分)を受給した。
- 最低賃金の大幅上昇、更に、公共料金、食材、保険、修繕工事代等値上げの中、法人全体で、経費の削減や計画の見直しに努めた。報酬改定の効果もあり、当期活動増減差額は、前年度より増加し黒字を計上できた。

令和6年度 決算報告

法人単位資金収支計算書
(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		予算(A)	決算(B)	差異(A)-(B)
事業活動による収支	就労支援事業収入	103,904,000	107,251,212	-3,347,212
	障害福祉サービス等事業収入	499,511,500	505,290,198	-5,778,698
	その他の事業収入	455,147	688,480	-233,333
	借入金利息補助金収入	612,000	612,000	0
	経常経費寄附金収入	6,860,000	6,939,000	-79,000
	受取利息配当金収入	44,470	64,665	-20,195
	その他の収入	11,553,000	11,095,090	457,910
	事業活動収入計(1)	622,940,117	631,940,645	-9,000,528
	人件費支出	350,559,380	347,725,519	2,833,861
	事業費支出	69,946,372	66,048,422	3,897,950
支 出	事務費支出	50,440,830	43,860,219	6,580,611
	就労支援事業支出	101,892,900	100,707,817	1,185,083
	支払利息支出	2,293,020	2,289,125	3,895
	その他の支出	9,590,000	9,145,061	444,939
	事業活動支出計(2)	584,722,502	569,776,163	14,946,339
事業活動資金収支差額(3)=(1)-(2)		38,217,615	62,164,482	-23,946,867
施設整備等による収支	施設整備等補助金収入	10,525,000	10,525,000	0
	施設整備等寄附金収入	5,000,000	5,000,000	0
	固定資産売却収入	550,000	550,000	0
	施設整備等収入計(4)	16,075,000	16,075,000	0
	設備資金借入金元金償還支出	28,278,000	28,278,000	0
支 出	固定資産取得支出	8,640,740	8,640,740	0
	施設整備等支出計(5)	36,918,740	36,918,740	0
	施設整備等資金収支差額(6)=(4)-(5)	-20,843,740	-20,843,740	0
	長期運営資金借入金収入	0	132,000	-132,000
	積立資産取崩収入	1,783,240	1,783,240	0
その他の活動による収支	その他の活動収入計(7)	1,783,240	1,915,240	-132,000
	投資有価証券取得支出	600,000	3,600,000	-3,000,000
	積立資産支出	4,722,250	9,033,533	-4,311,283
	その他の活動支出計(8)	5,322,250	12,633,533	-7,311,283
	その他の活動資金収支差額(9)=(7)-(8)	-3,539,010	-10,718,293	7,179,283
支 出	予備費支出(10)	0	—	—
	当期資金収支差額合計(11)=(3)+(6)+(9)-(10)	13,834,865	30,602,449	-16,767,584
	前期末支払資金残高(12)	208,174,600	208,174,600	0
当期末支払資金残高(11)+(12)		222,009,465	238,777,049	-16,767,584

法人単位事業活動計算書
(自) 令和6年4月1日 (至) 令和7年3月31日

(単位:円)

勘定科目		当年度決算(A)	前年度決算(B)	増減(A)-(B)
サービス活動による収支	就労支援事業収益	107,251,212	105,201,060	2,050,152
	障害福祉サービス等事業収益	505,290,198	483,736,357	21,553,841
	その他の事業収益	688,480	646,588	41,892
	経常経費寄附金収益	6,939,000	1,084,120	5,854,880
	サービス活動収益計(1)	620,168,890	590,668,125	29,500,765
	人件費	350,587,029	340,067,418	10,519,611
	事業費	66,048,422	66,507,316	-458,894
	事務費	43,860,219	44,093,794	-233,575
	就労支援事業費用	101,800,969	105,876,870	-4,075,901
	減価償却費	39,094,795	39,030,794	64,001
活動外増減の部	国庫補助金等特別積立金取崩額	-20,350,756	-21,687,946	1,337,190
	サービス活動増減差額(2)	581,040,678	573,888,246	7,152,432
	サービス活動増減差額(3)=(1)-(2)	39,128,212	16,779,879	22,348,333
	借入金利息補助金収益	612,000	768,000	-156,000
	受取利息配当金収益	64,665	60,429	4,236
活動外増減の部	投資有価証券売却益	127,040	189,923	-62,883
	その他のサービス活動外収益	11,095,090	13,291,261	-2,196,171
	サービス活動外収益計(4)	11,898,795	14,309,613	-2,410,818
	支払利息	2,289,125	2,610,329	-321,204
	投資有価証券売却損	0	846	-846
特別増減の部	その他のサービス活動外費用	9,145,061	9,283,980	-138,919
	サービス活動外費用計(5)	11,434,186	11,895,155	-460,969
	サービス活動外増減差額(6)=(4)-(5)	464,609	2,414,458	-1,949,849
	サービス活動外増減差額(7)=(3)+(6)	39,592,821	19,194,337	20,398,484
	施設整備等補助金収益	10,525,000	12,302,000	-1,777,000
特別増減の部	施設整備等寄附金収益	5,000,000	0	5,000,000
	固定資産貯蓄額	0	400,000	-400,000
	固定資産売却益	549,998	0	549,998
	特別収益計(8)	16,074,998	12,702,000	3,372,998
	固定資産売却損・処分損	1,265,228	12,702,000	-1,265,216
活動外増減の部	国庫補助金等特別積立金積立額	10,625,000	12,302,000	-1,677,000
	特別費用計(9)	11,890,228	12,302,012	-411,784
	特別増減差額(10)=(8)-(9)	4,184,770	399,988	3,784,782
	当期活動増減差額(11)=(7)+(10)	43,777,591	19,594,325	24,183,266
	前期繰越活動増減差額(12)	340,945,693	321,351,368	19,594,325
繰越活動増減の部	当期繰越活動増減差額(13)=(11)+(12)	384,723,284	340,945,693	43,777,591
	基本金取崩額(14)	0	0	0
	その他の積立金取崩額(15)	0	0	0
	その他の積立金積立額(16)	5,611,783	0	5,611,783
	次期繰越活動増減差額(17)=(13)+(14)+(15)-(16)	379,111,501	340,945,693	38,165,808

法人単位貸借対照表
令和7年3月31日現在

(単位:円)

資産の部		負債の部	
流动資産	当年度末	前年度末	増減
現金預金	185,948,003	155,755,362	30,192,641
事業未収金	94,251,347	81,611,741	12,639,606
未収補助金	9,604,800	9,256,508	348,292
受取手形	0	15,910,067	-15,910,067
商品・製品	4,024,320	3,265,486	758,834
原材料	1,402,600	1,605,480	-202,880
立替金	226,648	111,573	115,075
前払費用	5,768,814	5,090,344	678,470
仮払金	7,750	25,500	-17,750
固定資産	495,589,322	519,919,390	-24,330,068
基本財産	339,359,372	363,710,994	-24,351,622
土地	100,430,000	100,430,000	0
建物	237,929,372	262,280,994	-24,351,622
定額預金	1,000,000	1,000,000	0
その他の固定資産	156,229,950	156,208,396	21,554
土地	40,319,868	40,319,868	0
建物	6,926,099	8,323,198	-1,397,099
構築物	5,394,781	7,424,938	-2,030,154
機械及び装置	5,013,246	5,504,880	-461,634
車輛運搬具	7,509,222	10,064,788	-2,555,566
器具及び備品	9,317,526	10,348,780	-1,031,254
権利(償却)	309,321	472,533	-163,212
権利(非償却)	22,855,465	24,109,405	-1,253,940
投資有価証券	9,366,117	5,639,077	3,727,940
退職給付引当資産	29,399,500	29,823,000	-423,500
施設整備等積立資産	7,000,000	7,000,000	0
工賃動態積立資産(就労)	1,697,664	683,000	1,014,664
設備等整備積立資産(就労)	4,946,068	348,949	4,597,119
差入保証金	5,900,000	5,900,000	0
その他の固定資産	245,070	245,980	-910
資産の部合計	796,823,604	792,551,451	4,272,153
負債及び純資産の部合計	540,118,791	506,066,956	34,051,835
負債及び純資産の部合計	796,823,604	792,551,451	4,272,153

新利用者 紹介



中沼ジョブセンター

新職員 紹介



中沼ジョブセンター



松田センター



総務部



中沼ケアセンター



中沼ケアセンター



松田センター



あのひとこんなひと

趣味に仕事に頑張る2人を紹介します



松田センター 主任

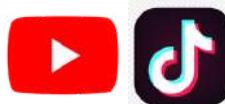
平成10年9月に旧更生施設中沼コスマス学園(現在のコスマス学園中沼ケアセンター)に入職しました。その後、居宅介護事業所それいゆに配属となり現在はコスマス学園松田センターで支援員として働いています。

これといった趣味はありませんが、犬がとても大好きでミニチュアダックスフンド(名前はあづき)を飼っています。犬と過ごす時間が自分にとって何よりの幸せで、散歩や遊びはもちろん、美容室、病院など、ただただ一緒にのんびり過ごす時間を大切にしています。

新型コロナウィルス感染症が5類になり、2年数ヶ月が経過しました。事業所の活動もほぼ以前のように活気が戻り安心しました。今後も頑張っていきたいと思いますのでよろしくお願ひします。



中沼ジョブセンター支援員



令和5年3月から中沼ジョブセンターに入職しました。仕事では、SNS(TikTok、YouTube)でコスマス学園の魅力を伝える活動をしています。行事や職員のプライベート、仕事風景などを動画で発信しています。撮影や編集など大変ですが、動画を見てくださる方にコスマス学園を知ってもらえるために頑張りたいと思います。

最近では手芸を始めようと思い、道具や刺繡セットを買いました。刺繡のがま口を作ろうと思っていますが、まだ始めることができていません。今後楽しくいい作品が作れるようになりたいと思います。仕事に趣味に頑張ります。



職員・ボランティア募集

私たちと一緒に
コスマス学園で
活動してくださる方を
募集しています
まずはお気軽に
お問い合わせください
(0465)72-0880



皆さまより多くのご寄附をいただきました。
この書面をお借りしましてお礼申し上げます。

中沼ケアセンター・ハイエースリフト
購入の助成金をいただきました。

車輌

公益財団法人
中央競馬馬主社会福祉財団様

ゼリー・やカップ麺、
ステイックコーヒー
などの食品を
いただきました。



食品

NPO法人
報徳食品支援センター

小田原足柄リトルシニア
コスマス後援会
コスマス学園保護者会

寄附

イトーヨーカ堂労働組合
小田原足柄リトルシニア

善意 (順不同・敬称略)